



地域密着型金融の取り組み状況
(平成28年度)

平成29年10月
株式会社京葉銀行

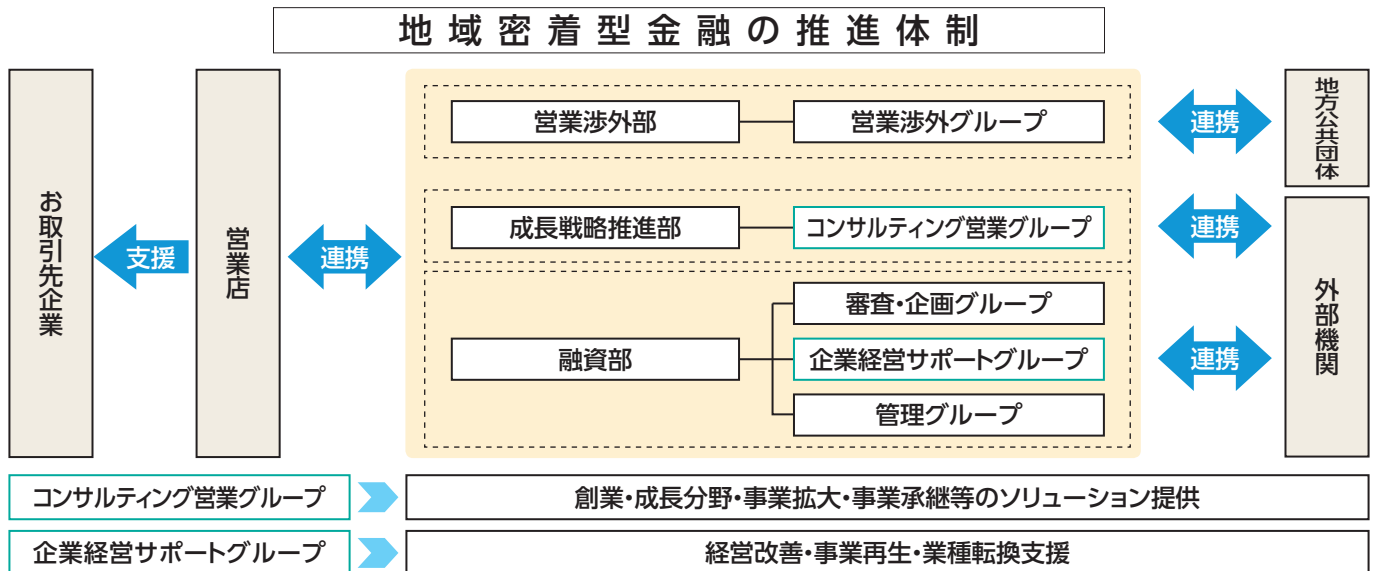
○地域密着型金融の推進	．．．．	2
○ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮	．．．．	4
○地域活性化への積極的な貢献	．．．．	8

地域密着型金融の推進

地域密着型金融に関する基本的な考え方

当行は、「地域への貢献」、「堅実な経営」を重要な使命と位置づけ、地域密着型金融を推進しています。平成27年4月よりスタートした『第17次中期経営計画』においても、経営課題の1つに「地域活性化への積極的な貢献」を掲げ、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した事業性評価に基づく資金供給や本業支援に取り組んでいます。経営課題の解決へ最適なソリューションを提供することで、地域経済の発展と地方創生の実現に積極的に貢献してまいります。

なお、こうした取り組みは、金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク^{*}」の趣旨に則ったものです。今後も「金融仲介機能のベンチマーク」を効果的に活用し、金融仲介機能のさらなる発揮へ努めてまいります。



※金融仲介機能のベンチマークとは？

金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、金融庁より平成28年9月に公表されました。

共通ベンチマーク …金融機関が、金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を、客観的に評価するために活用可能な指標のことです。

選択ベンチマーク …金融機関が、自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて、選択できる指標のことです。

地域の事業者さまへの貸出状況

当行は、「お客さま目線」を第一とする業務運営を実践しており、引き続き地域密着型金融の推進を通じて、地元千葉県の成長、発展に積極的に貢献してまいります。

◆中小企業向け融資における千葉県内比率

91.4%

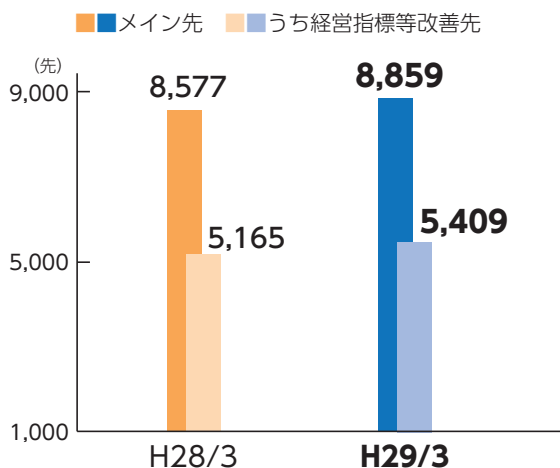


当行をメインバンクとするお取引先の拡充

金融仲介機能発揮の成果として、当行をメインバンクとするお取引先企業数は、着実に増加しています。引き続き、さまざまな経営課題をご相談いただけるお取引先の拡大と支援の充実に努めてまいります。

◆当行をメインバンクとするお取引先のうち 経営指標が改善した先数

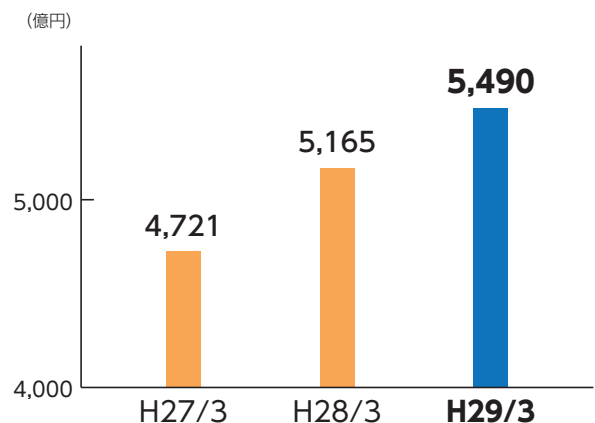
共通ベンチマーク



※メイン先のうち決算データが完備している先を対象

◆経営指標が改善した先の融資残高の推移

共通ベンチマーク

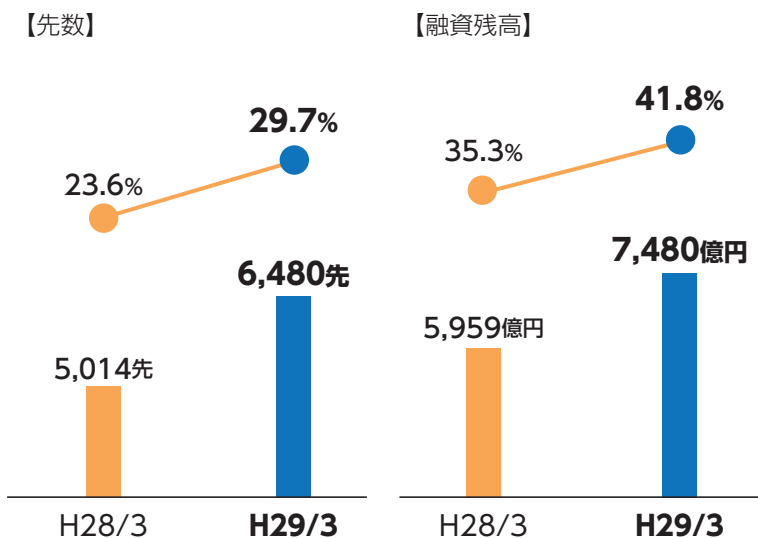


事業性評価への取り組み

当行は、お取引先企業の事業内容や成長可能性などを捉えた「事業性評価」に基づき、担保・保証に過度に依存しない融資に積極的に取り組んでいます。

◆事業性評価に基づく融資を行っている先数・融資残高および全体に占める割合

共通ベンチマーク



※単体ベース



※当行の事業性評価とは？

- ① 事業性評価に関する当行独自のシートなどを活用し、事業内容や成長可能性等を把握したお取引先
- ② 経営改善計画の策定を支援したお取引先
- ③ 経営者保証ガイドラインを活用したお取引先
- ④ 成長分野向け融資を行ったお取引先

ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

お取引先企業の生産性の向上を後押しするため、創業期から再生期まで、ライフステージ*に応じた最適なソリューションの提供に努めています。

引き続き、成長への積極的なサポートを通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

◆企業のライフステージ



事業性評価の実施
ビジネスマッチング・商談会の開催
担保・保証に依存しない融資やABL等の活用



創業計画策定支援

成長分野進出支援

経営改善計画作成・事業再生支援

ファンドの活用・補助金申請支援

事業承継・M&A支援

DDSの活用

◆ライフステージ別の与信先数

共通ベンチマーク

H29/3	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	21,854先	1,328先	1,580先	8,022先	467先	1,564先
融資残高	17,882億円	584億円	1,635億円	9,673億円	273億円	1,548億円

※5期分の決算データがない先は除く

※ライフステージとは？

創業期…創業、第二創業から5年までの期間です。

成長期・安定期・低迷期…直近2期と過去5期の売上高平均を対比し、区分しています。

再生期…貸付条件の変更または延滞がある期間です。

| 経営者保証ガイドラインへの対応

「経営者保証に関するガイドライン*」の趣旨を踏まえ、経営者の保証に依存しない融資を一層促進するとともに、既存の融資についても、同ガイドラインで示された保証契約のあり方に基づく適切な対応に努めています。

◆平成28年度 取り組み実績

新規に無保証で融資した件数	新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	保証契約を変更・解除した件数
件数	比率	件数
1,825件	9.7%	68件

※「経営者保証に関するガイドライン」とは？

中小企業・小規模事業者等の経営者による個人保証について、保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における、中小企業・小規模事業者等、保証人、金融機関等の自主的なルールを定めたものです。

創業期への取り組み

事業の内容や特性を把握するための実査・面談など、地域金融機関ならではのリレーションシップを活かし、創業・新規事業に向けての資金提供がスムーズにできるよう努めています。

また、融資以外の面からも、創業計画の策定支援や創業相談会を開催するなど、サポートを実施しています。

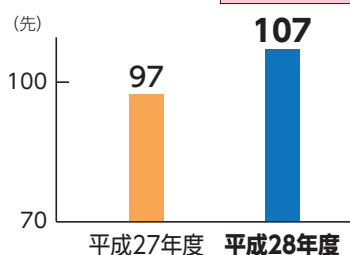
◆金融機関が関与した創業、第二創業※の件数

共通ベンチマーク

	平成27年度	平成28年度
金融機関が関与した創業件数	814件	941件
金融機関が関与した第二創業件数	2件	3件

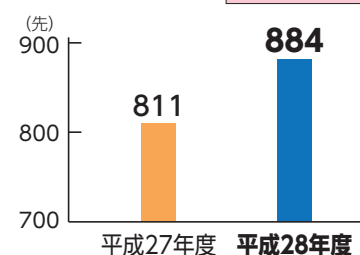
◆創業計画策定による支援先数

選択ベンチマーク



◆創業期の取引先への融資による支援先数

選択ベンチマーク



※第二創業とは？

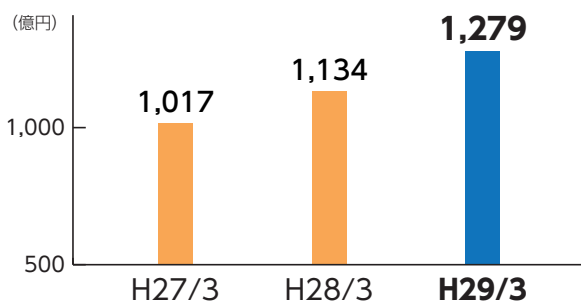
すでに事業を営んでいる事業者が、業態転換や新規事業に進出することです。

成長期・安定期への取り組み

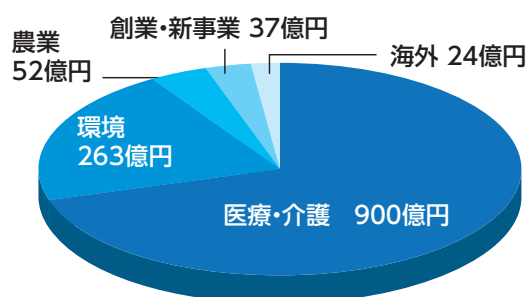
地域活性化の一環として、セミナーを開催し情報提供を行っているほか、商談会やビジネスマッチングを通じて、お取引企業の生産性向上を積極的に支援しています。

また、「医療・介護」、「海外」、「農業」、「環境」などの成長分野の事業支援を行うため、専門担当者を配置し、きめ細やかなサポートに努めています。

◆成長分野向け融資残高の推移



◆成長分野向け融資残高内訳(平成29年3月末)



医療・介護分野

少子高齢化の進展により、成長が見込まれる医療・介護事業者の皆さまに、専門家のご紹介、介護事業分野への進出相談や新たな設備等に関する融資など、さまざまなご相談に対応しています。



医療経営コンサルタント等の専門性の高い人材を育成

海外分野

外部機関と連携して、海外企業との取引開始や、販路拡大等の情報を提供しています。平成28年9月と平成29年2月には、県内金融機関では初となる「台湾」を主題としたセミナーを開催しました。今後も、事業者の皆さまの海外展開ニーズにお応えし、海外の最新情勢等を提供してまいります。



台湾向け食品輸出セミナーの様子

農業分野

農業経営アドバイザー資格を有する専門スタッフが、販路拡大、資金調達や6次産業化のサポートをしています。

平成29年6月には、「地方創生“食の魅力”発見商談会」に参加しました。第二地方銀行間のネットワークを活かし、地元食材の販路拡大の機会を提供しました。



地方創生“食の魅力”発見商談会の様子

環境分野

太陽光発電事業を検討しているお客さまへの助言や、ビジネスマッチングなどのサポートのほか、公的機関の施策、補助金の情報提供やご相談に対応しています。



太陽光発電の様子

低迷期・再生期への取り組み

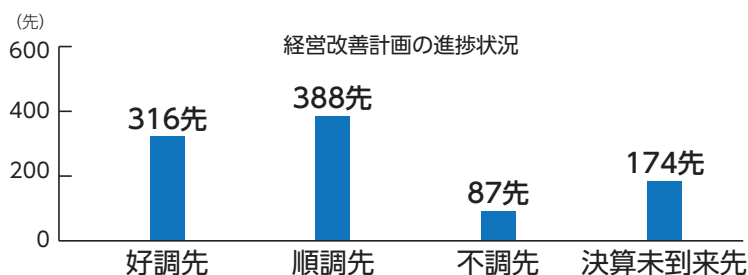
中小企業診断士等の専門スタッフが、中小企業再生支援協議会や認定支援機関等と連携し、お取引先企業の経営改善支援や事業再生支援に積極的に取り組んでおります。

◆中小企業の条件変更先の経営改善計画の進捗状況

共通ベンチマーク

経営改善計画策定(条件変更)先(平成29年3月末)

先数
965先



※売上高、経常利益
いずれかの改善率
好調先(120%超)
順調先(80~120%)
不調先(80%未満)

◆平成28年度 外部専門家等の連携状況

外部専門家・外部機関との連携	うち認定支援機関
件数	件数
41件	37件

◆平成28年度 新たな手法による事業再生支援状況

DDS(デット・デット・スワップ)の実施
件数
4件

事業承継支援への取り組み

自社株式評価・相続資産評価、保険の活用や遺言信託、M&A、不動産承継対策など、民間コンサルティング会社やM&A仲介業者とも連携し、具体的な問題解決策への提案を行っています。

また、平成28年10月より、後継者の育成を通じて地元企業の円滑な事業継承をサポートし、10年後、20年後の成長に貢献するため、「アルファバンクの後継者塾」を開催しております。

◆平成28年度 M&Aに関する相談受付実績

相談件数	選択ベンチマーク
38件	



後継者塾の様子

地域活性化への積極的な貢献

地方創生への取り組み

「観光によるまちおこし」、「医療・介護によるまちづくり」、「インバウンドによる地域活性化」を3大テーマとし、地方創生に貢献するさまざまな取り組みを進めています。

観光によるまちおこし

香取市で推進している観光活性化をより円滑に進めるため、平成29年2月、関係6者間で『千葉県香取市の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定』を締結しました。



TOPICS

古民家宿泊事業への出資

平成29年2月に、REVIC・佐原信用金庫との連携により設立した「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」は、1号案件として古民家宿泊事業会社へ投資しました。今後、同社は古民家を改修したホテルなどを順次開業予定です。

～佐原観光を「滞在型」へ～

香取市佐原地区は、歴史ある街並みやユネスコ無形文化遺産に登録された「佐原の山車行事」(佐原の大祭)等の観光資源を有しながら、日帰り観光客が大半であることが課題でした。

当行は、「滞在型観光」へのシフトを支援することで、地域活性化を目指しています。



医療・介護によるまちづくり

医療・介護・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を支援するとともに、誰もが健やかに安心して生活できる「スマートウェルネスタウン」の実現による地域活性化を目指しています。



TOPICS

病院・複合商業施設の建設始動

平成29年1月、浦安市・浦安中央病院・ミサワホームと締結した4者連携協定に基づき、病院を併設した複合商業施設の共同起工式が行われ、建設が始動しました。

平成30年春頃、竣工・オープン予定です。



|αBANKビジネスクラブの運営

年次大会記念講演会や交流会を開催し、会員の皆さま相互のビジネス交流に取り組んでいます。また、毎月のセミナーでは著名な講師を招き、会員の皆さまの経営管理や人材育成のお手伝いをしています。

αBANKクラブ年次大会(記念講演会&交流会)

平成29年3月13日、幕張メッセにて「第28回αBANKビジネスクラブ年次大会」を開催いたしました。

講師にはキャノングローバル戦略研究所研究主幹、立命館大学客員教授、外交政策研究所代表である宮家邦彦氏をお招きし、約780名のお客さまにご参加いただきました。



宮家 邦彦氏

月次セミナー

毎月、経済講演やマイナンバー制度対策などタイムリーなテーマで開催しています。

平成28年度は、合計で約760名のお客さまにご参加いただき、会員間の交流等を支援いたしました。



平成29年1月セミナー

杏林大学 外国語学部教授
日本語学者 金田一 秀穂氏